

町会ニュース

第46号
2月号

H28, 2, 28

(発行)

箕土路町会



大災害に備え 自主防災会を結成

大災害が発生した場合、市、消防、警察などが総力をあげて救助活動を行います。

しかし、電話の不通や交通網の寸断、火災などによりすぐに対応できない可能性があります。

被害を最小限に食い止めるためには、災害に備え、普段からひとりひとり（個人）が準備・用意していくとともに、地域住民が協力して消火や救出、救護などの活動に取り組むことが必要・重要です。

このため、箕土路町内会では、3年前より年1回防災訓練



を開催し、避難訓練、応急救護訓練をはじめ各種防災訓練を実施してきました。さらに、町住民の防災意識の高揚、防災技術の高揚をはか



るため、昨年11月、町内会に「自主防災会」を結成しました。自主防災会会長には町内会長をあて、町内会役員、評議員を中心に各種団体の協力のもと、防災活動を進めてまいります。

市補助金受け 防災倉庫設置 自主防 災会は、

一年を通じ、三世代交流というみづくり学級を有意義に進めていただきました。重ねてお礼申し上げます。

次年度のみづくり学級がなお盛んに活動できますよう、お願い申し上げます。

箕土路青少年会館
館長 藤原左記子

街角散歩

みづくり学級 閉講式

老人会からお借りした台を使って二月二一日(日)クオリティ大会がありました。今年度のみづくり学級の閉講式として、老

人会・町会・婦人会・子ども会の皆様で楽しい大会を開催することができました。優勝をめざして、チームが応援しあい、接戦に次ぐ接戦という素晴らしい大会になりました。

各種団体の皆様ありがとうございました。また、



防災福祉コミュニ ニティ協議会 会議参加

一月二十四日(日)市消防において開催された「岸和田市防災福祉コミュニティ協議会」会議に初めて参加しました。

コミュニケーション協議会には市内60団体(90町会)の自主防災組織が参加・登録されており、平成



岸和田市防災福祉コミュニティに団体登録するとともに、市防災福祉コミュニティ補助金を申請し、「老人憩いの家」横に箕土路町防災倉庫を設置し、災害救助工具セット、スタッフジャンパー等、防災備品を購入しました。



27年度には市内各地域で計39回の各種防災活動・訓練が活発に実施されていることが発表され、箕土路町も昨年の防災訓練を報告しました。

他の報告では、要援護者(独居老人、障がい者)への安否確認訓練や、避難所開設訓練など、先進的な取り組みも報告され、箕土路町自主防災会もこれら先進的活動に学び、年間を通じて防災活動を進めていくことが必要・重要です。平成28年度から本格的な活動開始となりますが、問題・課題も数多くあり、手探りの活動となりますが、「自分たちの地域は自分たちで

箕土路町

自主防災会



三月の予定

六日 埋立ゴミ回収

各団体会計監査

十三日 評議員会

二十日(日) 定期総会

二十七日 広報配布